

【名前の由来】

高純度 ソマチッド
古代ニシキ貝化石内霊的生命たる
不死不滅の超極微小球形体
AMSPower-3

神 の 息

不 死 鳥

人間の中の「神の息」は、

- ・内なる生命であり
 - ・その人自身の健康であり、
 - ・その人自身の心であり、
 - ・その人自身の魂である。
 - ・その人の内で「感ずる」何かで、
 - ・その人が「宇宙的になろうとする」何かで、「善い人になろうとする」何かで、
- それを、現代では、「愛」とか「光」とか「神」とかと呼ばれているものです。

この「神の息」を古代ヘブライ語で「ヘブリ」、カバラで「アレフ」、日本宗教で「空」、と言われ、近代では「愛」「光」「神」と呼ばれ、それは、不死鳥である。

それは、宇宙内のすべてに浸透している神たる聖なる「光」と「秩序」の普遍的な霊で、宇宙の調和と平和の聖なる霊です。

従って、宇宙内の全ての鉱物、植物、動物にも内在しているのです。

それが、何かの理由で不足すると、形態(体など)に不調和状、不秩序状が顕現するので、それを補うことにより、形態(体など)が、「より秩序的、より調和的」になるところです。

アムスホワイト株式会社は、この「神の息」を、全人類と全ての存在物に提供し、より平和の状になることを理念としています。

高純度 ソマチッド

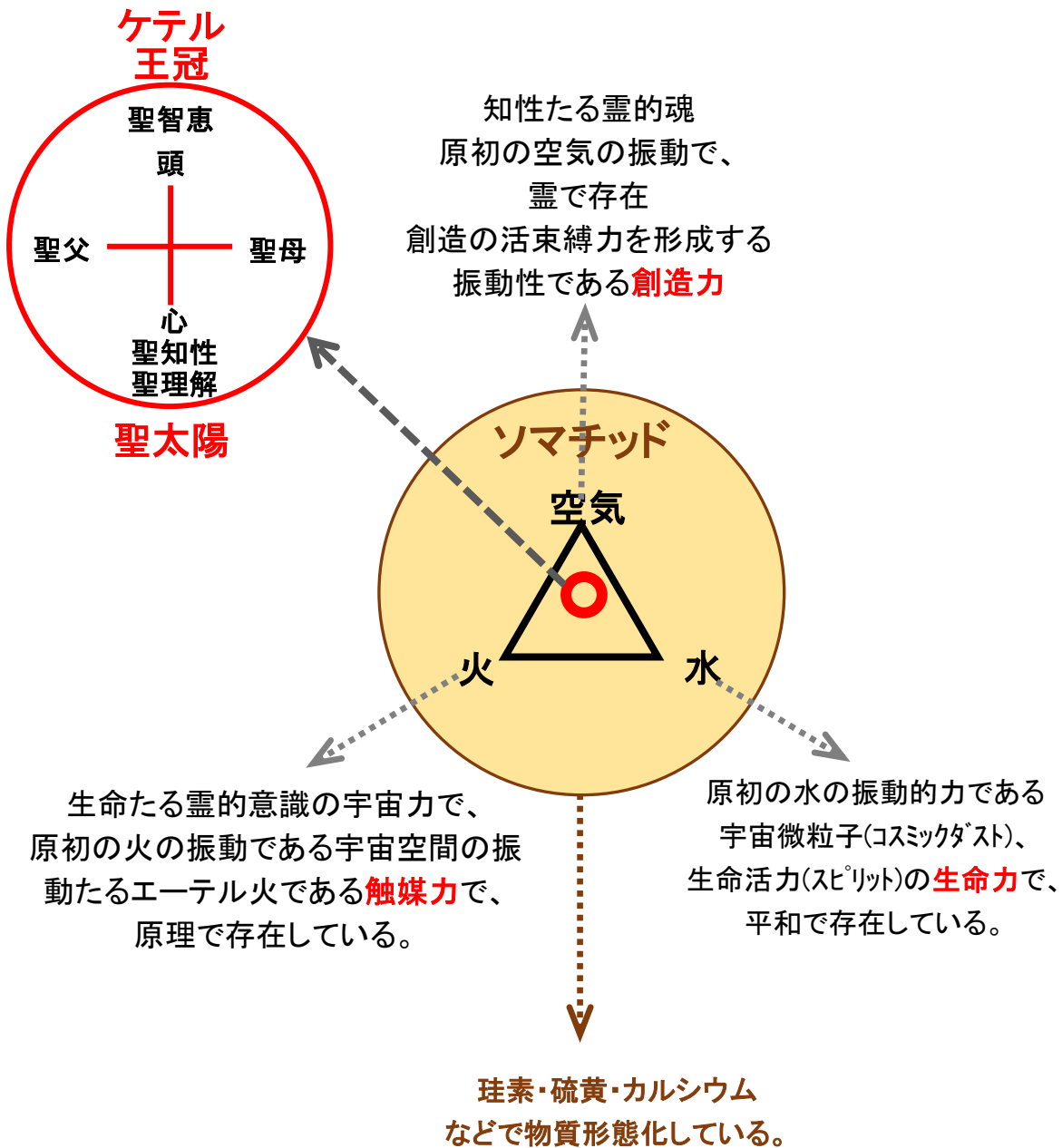
古代ニシキ貝化石内霊的生命たる不死不滅の超極微小球形体

「神の息」

神の息

不死鳥

内部力について



高純度 ソマチッド
古代ニシキ貝化石内靈的生命たる不死不滅の超極微小球形体

「神の息」
神の息
不死鳥

約5万年前、地球の大規模隆起の際、海底の一部が地上に隆起し、ニシキ貝化石の山を形成した。このニシキ貝の中には、世界魂とも地球魂とも言う生命の本質・本源により原初三元素のアレフ(空気)・ムム(水)・シン(火)によって創造された靈的生命ースピリチュアル・ライフ(永遠生命)が宇宙に存在した。

この靈的生命が有限物質界に顕現するのに自己の周りに珪素・カルシウム・硫黄などの元素を集め、殻とし不死不滅の微極微小球形体を構成し存在化した。

この球形体をガストン・ネサン(生物学者)は「ソマチッド(SOMATIDS)」と命名した。

ネサンは、ソマチッドを癌患者に施し、1,000人中750人の癌患者を治療した。

その後、ネサンはソマチッドについて研究を重ね、ソマチッドはあらゆる生物の中に存在しソマチッドの存在が無ければ生命(物的)すら存在しないと言っている。

また、ソマチッドの量(数)が多いと健康で、ソマチッドが少ないと病弱であることを発見した。

この様にネサンは、人間の血液中にこのソマチッドの存在の重要性を説いたのである。

我々はこのソマチッドの内部に実在する靈的生命である原初三元素について解説する。

この原初三元素のアレフ(空気)・ムム(水)・シン(火)は、すべてのものの基礎で、

- ・アレフ(ALEPH)は、知性たる靈的魂で原初の空気(気)の振動で、靈で存在し、それは、創造の活束縛力を形成する振動性である創造力のこと。
- ・ムム(MEM)は、平和で存在し、原初の水の振動的力である宇宙微粒子(コスミックダスト)である生命力のこと。
- ・シン(SHIN)は、生命たる靈的意識の宇宙力で原理で存在し、原初の火の振動である宇宙空間の振動たるエーテル(火)である触媒力のこと。

これらが原初の神の三大創造力である。

以上の原初三大元素により、高級界の生きる力の表われである靈的生命が創造・顕現したのである。

このことからネサンの命名したソマチッドの実在たる、アレフ・ムム・シンの原初三大元素によって創造された古代貝化石内の超微小生命球体内の靈的生命を「神の息」と名付けた。

よって、この「神の息」は自己自身が聖なる靈の意識・知性・意志を完全に内在しているのである。

従って、創造の為に万能と言える。

地球魂の体たる超極微小霊的生命球体「神の息」についての概要

約 5 万年前に地球の大規模隆起時、海底の一部が地上に隆起し、ニシキ貝化石の山を形成した。

このニシキ貝化石の中には、生命の本質・本源である(エーテル的エネルギーの宇宙力の)地球魂により、原初の空気(霊・創造力)、水(生命力・宇宙微粒子)、火(触媒力・原理)によって創造された霊的生命の外殻である**極微小の原初生命球体**が存在した。

この地球魂の霊的生命の体たる外殻の**極微小原初生命球体**は、

- ・すべてのものの中にある力
- ・すべての創造物を通して、存在している力

である。

この**極微小原初生命球体**を 1940 年代後半にガストン・ネサン博士(生物学者)はソマチッド(Somatid)と名付けた。

ネサンはこの**極微小原初生命球体**が、あらゆる生物の中に存在し、人間の血液・細胞の中にも点在することを発見した。

ネサンは、このソマチッド(**極微小原初生命球体**)が存在しなければ、生物は生命すら存在しないとも言っている。

この地球魂の霊的生命の容器たる体の**極微小原初生命球体**の物質的体は、主にカルシウム・珪素などの元素で構成されているが、内在している霊的な地球魂の**霊的生命**は条件により(水を加える)完全な円運動をしているが為に、この**極微小原初生命球体**は完全なる球体を形成するのである。

この地球魂の霊的生命の体・容器である**極微小原初生命球体**は、不壊・不死・不滅で最古の生命球体で意識を持ち、知性を持ち、意志を持って、全ての創造物(人間・動物・植物・鉱物)を通して存在し、創造という力を発揮しています。

この様な能力などから我々は、地球魂の体たる**極微小原初生命球体**のことを「神の息」と称することにした。

この「神の息」は、あらゆる創造物の生命を破壊する力を変質させ創造力に戻すという驚異の働きをします。

例えば、動物・植物などに「神の息」を加えることにより、生命が増加し、生命力が強化され、免疫が高まり、病気が予防され、品質が向上し、量産されるなどの効果が期待されます。

また、人間についても細胞核内の生命活力を増加し、細胞を強化してあらゆるウイルスを寄せ付けず、健康維持・促進、病気予防・改善、生命力強化、免疫力強化などあらゆる分野で人間創造の根本を担っているのです。

この地球魂の霊的生命の体たる**極微小原初生命球体**の「神の息」が体内に多量あると、健全・健康な体内環境が創造される。

「神の息」たる地球魂の霊的生命の体である**極微小原初生命球体**の創造的働きは、多くの分野において驚異的な能力・威力を発揮します。

例えば、食品の中の人体破壊の化学化合物を分離分解し無害化にと変質したり、あるいは、放射能でさえも化学作用・変化により結合し、破壊的力となった化合物を単一元素にと分離・分解・変質し安全にします。

この「神の息」は、その機能としては万能であり、特に

- ・環境問題の解消（放射能解消・土壌改良・水質改善）（空間・地上・海中）
- ・人間の健全化の強化（健康促進・美容改善等）
- ・農業の振興（農作物の増産・品質向上等）
- ・漁業の振興（特に養殖漁業の増産・品質向上等）
- ・畜産業の振興（畜産物の増産・品質向上等）
- ・植物緑化の振興
- ・その他生物の不調和状・不完全状の改善

等、地球上での主人公である人間類が抱えている大なる問題解決に寄与するものである。

「神の息」の主成分である

- ・**カルシウム**は、血や骨の中にあり、細胞の生命を増進させ、それらに枠組みを保たせる等、多くの人の健康増進のための働きをしています。

カルシウムが無いと骨格が形成されず、カルシウムが欠けると血管が酸性症となるのです。

- ・**珪素**は、非常に強力な防腐性を持っている。歯や骨の堅さや光沢を加えるし、毛髪や爪に必要な要素である。

豊富な珪素は腫瘍や腫瘍の悪質な癌・神経疲労を防ぐ。癌予防したい方や神経労働者は珪素食品を摂取し、血液、細胞内の珪素を豊富にするべきである。珪素は、性力を増す。この性力の「性」とは想念を通して創造における二重性の法則を満たす。つまり、創造機能のことで、珪素が不足すると、肉体の再創造が不可能となる。つまり、傷や細胞の再生・再創造能力が低下する。それに反し、珪素が豊富だと、癌細胞などの再生・再創造が可能となる。